

企画展 須藤玲子：NUNOの布づくり

テキスタイルデザイナー須藤玲子の
国際巡回展、日本初公開



Japan House Londonでの展示風景 2021年 ©Japan House London

展覧会名	須藤玲子：NUNOの布づくり
会期	2023年10月8日(日)–12月10日(日)
休館日	月曜日(ただし10月9日は開館)、10月10日(火)
会場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 公益財団法人ミモカ美術振興財団
担当キュレーター：古野華奈子 広報担当：奥本末世、鈴木美帆
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1
TEL 0877-24-7755 FAX 0877-24-7766
E-MAIL press@mimoca.jp URL www.mimoca.org

—— 開催趣旨

テキスタイルデザイナーの須藤玲子（茨城県出身、1953-）と、須藤が率いる「NUNO」の活動を紹介します。

思いがけない素材を使用したり、伝統的な職人技と最新の工業技術を組み合わせたり、いち早くサステナビリティに取り組むなど、従来の概念にとらわれないアイデアあふれる須藤とNUNOのデザインは、身近な「布」に新たな視点を次々に提示し、現代のテキスタイルデザインをリードし続けています。

本展は、2019年に香港のミュージアム、CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) で企画、開催されたもので、コロナ禍のヨーロッパを巡回後、待望の日本開催となります。日本各地の職人、工場との協働作業や、素材の可能性を広げる取り組みに注目し、普段は見ることのできないテキスタイルの制作過程を、音と映像を交えたインスタレーションで展覧します。

創作の現場に触れることで、生活必需品としてのテキスタイルをあらためて見返し、観る人の暮らしに新たな美を加える機会となれば幸いです。



須藤玲子 《きびそ縞と筋》 2008年 撮影：林雅之

—— 出品作家プロフィール

須藤玲子(すどうれいこ)

1953年茨城県石岡市生まれ。株式会社 布 代表。東京造形大学名誉教授。日本の伝統的な染織技術から現代の先端技術を駆使し、新しいテキスタイルづくりをおこなう。作品は、ニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館、ボストン美術館、ロサンゼルスカウンティ美術館、ビクトリア&アルバート博物館、東京国立近代美術館など、世界の名だたるミュージアムに収蔵されている。2022年第11回円空大賞受賞。主な書籍に『日本の布(1~4)』(MUJI BOOKS 2018, 2019)、『NUNO: Visionary Japanese Textiles』(Thames & Hudson 2021)など。



撮影：林雅之

見どころ

国際巡回展、日本初公開

須藤の活動は国際的に高く評価され、海外の美術館や博物館でたびたび取り上げられてきました。2019年に香港のミュージアム、CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) が企画、開催し、好評を博した本展は、2021年にJapan House London(イングランド)、Dovecot Studios (スコットランド)、2022年にTextilmuseum St.Gallen (スイス) を巡回し、このたび当館での日本初公開となります。須藤の活動を包括的に紹介する初めての大規模個展です。



須藤玲子 《ジェリーフィッシュ》 1993年
撮影：林雅之

まさかの種明かし、メイキング大公開

完成したテキスタイルではなく、テキスタイルが「出来るまで」をメインとして見せる、画期的な展覧会です。アイデアのソースや、アイデア実現までの試行錯誤、実際にテキスタイルが作られる工場の様子まで、通常、作家や企業が秘密にする制作の過程を、惜しげもなく、まるごと公開します。音と映像を交えた作業工程の再現は、それ自体が美しいインスタレーション作品となっており、当館の空間に合わせて展示されます。



須藤玲子 《ジェリーフィッシュ》 刺繍による試作 撮影：林雅之

猪熊弦一郎とのコラボ企画

猪熊弦一郎作品とコラボレーションした須藤の新作インスタレーションを、当館限定で出品します。美術館の顔とも言えるファサードと、自然光が降り注ぐエントランスの吹き抜け、天井高14メートルを超えるこの二つの大空間に、須藤の大作がいとも「軽やか」に姿を現します。

※須藤と猪熊のコラボ商品も計画中。ミュージアムショップで販売予定です。

展示構成

テキスタイルが生み出す空間

NUNOの布を数百枚縫い合わせた幅14メートルのパッチワーク幕と、ジャカード織機用の紋紙(パンチカード)を大量につないだ幅11メートルのカーテンを展示、大きくゆるやかに分節された空間をご体感ください。



紋紙(パンチカード)
撮影：林雅之

アイデアが形になるまで

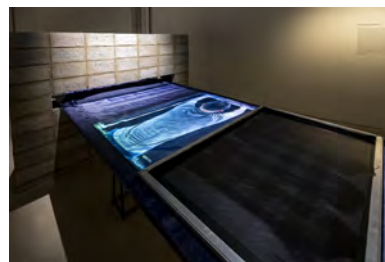
色の参考となる古布の膨大なコレクションと、新しいテキスタイルが完成するまでに必要な様々なアイテム(アイデアソース、スケッチ、素材、道具、資料、試作等)を展示します。完成したテキスタイルに触れることもできます。



須藤玲子
《カラープレート》スケッチ
撮影：林雅之

7つのミニ工場

須藤の代表的なテキスタイル7点について、制作過程を音や映像を交え抽象的に再現した、ミニ工場のようなインスタレーション作品として展示します。



CHATでの展示風景 2019年
©CHAT(Centre for Heritage, Arts and Textile),
Hong Kong

日本各地の工場

NUNOのテキスタイル製造を手掛ける日本各地の工場を、職人による作業や機械の操作の様子を日常の情景としてとらえた映像で紹介いたします。



映像「NUNOの布づくり 群馬編」より
アートディレクション：齋藤精一(パノラマティクス主宰)

パブリック・ワーク

須藤の主なパブリック・ワークを5点、パネル展示で紹介いたします。

猪熊弦一郎とのコラボレーション

猪熊弦一郎作品とコラボレーションした新作2点を当館限定で出品、当館の建築空間に合わせて展示します。

開催概要

展覧会名	須藤玲子：NUNOの布づくり
主催	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
企画	高橋瑞木（CHAT 館長兼チーフキュレーター）
会場構成	たしろまさふみ
アーティストック ディレクション	齋藤精一（パノラマティクス主宰）
協力	CHAT(Centre for Heritage, Arts and Textile) Hong Kong、Japan House London
会場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
会期	2023年10月8日(日)－12月10日(日)
開館時間	10:00－18:00(入館は17:30まで)
休館日	月曜日(ただし10月9日は開館)、10月10日(火)
観覧料	一般：950円(760円) 大学生：650円(520円) 高校生以下または18歳未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方と、その介護者1名は無料 *同時開催常設展「猪熊弦一郎展 生活に美を」観覧料を含む *()内は前売り及び20名以上の団体料金 *11月23日(木・祝)は開館記念日のため観覧無料

同時開催

常設展「猪熊弦一郎展 生活に美を」

【観覧料】一般：300円(240円)、大学生：200円(160円)

※企画展の観覧料は別途

前売券情報

楽天チケット <https://leisure.tstar.jp/event/rlikggm/>

【販売場所(丸亀)】

あーとらんどギャラリー：0877-24-0927

オークラホテル丸亀：0877-23-2222

おみやげ SHOP ミュー：0877-22-2400

—— プレス向け内覧会

本展開催に先立ち、10月7日(土)にプレス向け内覧会を実施いたします。
詳細は改めてリリースにてお知らせいたします。

—— 関連プログラム

オープニング・トーク

概要：出品作家と企画者によるトーク。須藤とNUNOの活動、本展の成り立ちや見どころなどをお話します。
日時：2023年10月8日(日) 14:00-(開場13:30)
講師：須藤玲子(テキスタイルデザイナー)、高橋瑞木(CHAT館長兼チーフ・キュレーター)
会場：2階ミュージアムホール
定員：170名(申込不要)
聴講料：無料

ワークショップ

概要：出品作家によるワークショップ。ギャラリートークの後、NUNOの布を使ってオリジナルのスカーフや風呂敷を作ります。
日時：2023年10月21日(土)、22日(日) 各日11:00-15:00(1時間の昼休憩をはさみます)
講師：須藤玲子(テキスタイルデザイナー)
会場：2階造形スタジオ
定員：各日30名(要申込、〆切：10月11日(水)、応募多数の場合は抽選)
参加料：一般2,000円、大学生500円、高校生以下または18歳未満は無料
*内容の詳細、申し込み方法は、決まり次第、当館ウェブサイトでお知らせします。

親子でMIMOCAの日

概要：高校生以下または18歳未満の観覧者1名につき、同伴者2名まで観覧無料となります。
日時：2023年11月4日(土)、5日(日) 各日10:00-18:00

キュレーターズ・トーク

概要：本展担当キュレーター(古野華奈子)が展示室にて見どころをお話します。
日時：2023年11月5日(日)、12月3日(日) 各日14:00-
参加料：無料(別途、本展観覧券が必要です)
申込不要、当日1階受付前にお集まりください。

※その他の関連プログラムは、決まり次第、順次当館ウェブサイト等でお知らせします。

— 広報用画像

1



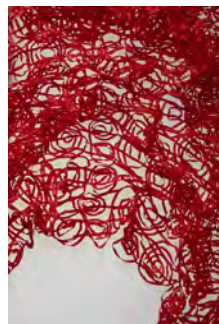
2



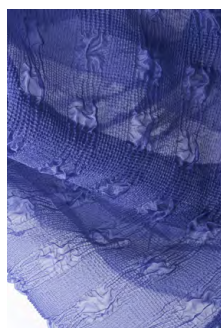
3



4



5



6



7



8



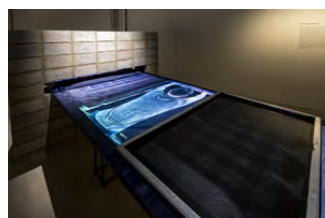
9



10



11



12



1 Japan House London での展示風景 2021年

2 須藤玲子 《カラプレート》 1997年

3 須藤玲子 《きびそ縞と筋》 2008年

4 須藤玲子 《紙巻き》 2002年

5 須藤玲子 《ジェリーフィッシュ》 1993年

6 須藤玲子 《アマテ》 2000年

7 須藤玲子 《カラプレート》スケッチ

8 きびそ

9 須藤玲子 《紙巻き》ドローイング

10 須藤玲子 《ジェリーフィッシュ》刺繍による試作

11 CHATでの展示風景 2019年

12 紋紙(パンチカード)

クレジット 1: ©Japan House London 2-10, 12: 撮影: 林雅之

11: ©CHAT(Centre for Heritage, Arts and Textile), Hong Kong

画像のお申し込み
フォーム

ご希望の方はお申し込み下さい。
<https://www.mimoca.org/ja/press/>

